

名称	株式会社鈴木商会
法人設立	昭和 28 年8月3日
所在地	〒060-0004 北海道札幌市中央区北四条西四丁目1番地 伊藤・加藤ビル6F TEL 011-280-1281 FAX 011-280-8900
資本金	2億 8100 万円
年商	137 億 3400 万円（平成 28 年度）
従業員数	302 名（平成 28 年8月現在）
役員	代表取締役社長 駒谷 僚 常務取締役 小川 雅裕 常務取締役 駒谷 早春 常務取締役 藤田 慎二 取締役 菅原 道紀 取締役 木原 誠 監査役 鷺谷 只則
関連会社	(有)鈴木清掃、(株)SRテクノ、東海産業(株)、(有)清野商店 (株)グリーンエコテック、(株)メタルライン、(有)成田商会
取引銀行	北洋銀行、商工組合中央金庫、北海道銀行、 みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行 室蘭信用金庫、札幌信用金庫、秋田銀行 JFE商事鉄鋼建材(株)、豊通マテリアル(株) エムエム建材(株)、伊藤忠マルズ(株) (株)三井物産メタルズ、阪和興業(株) (株)ホンダレーディング
主要取引商社	JFE条鋼(株)、新日鐵住金(株)、(株)日本製鋼所 清水鋼鐵(株)、トヨタ自動車北海道(株) アイシン北海道(株)、いすゞエンジン製造北海道(株) JX金属商事(株)、黒谷(株)、阪神金属興業(株)
主要納品先	金属(ざ商許可、古物商許可、建設業許可 産業廃棄物収集運搬業許可、産業廃棄物処分業許可 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 一般廃棄物処分業許可、第一種フロン類回収業者登録 廃棄物再生事業者登録、引取業者登録 フロン類回収業者登録、解体業許可、破碎業許可 使用済小型家電再資源化事業者認定
許可認可	

鈴木商会の歩み	昭和 16 年 06 月 室蘭市にて、「合名会社鈴木商会」を創立。 昭和 28 年 06 月 「合名会社鈴木商会」の全業務を継承し、 駒谷重幸代表取締役社長に就任。 「株式会社鈴木商会」が資本金 350 万円にて創立。
	昭和 29 年 10 月 札幌市菊水に「札幌出張所」を開設。 昭和 48 年 04 月 本社を室蘭市から札幌市に移転。 昭和 49 年 07 月 札幌市西区発寒に「札幌西事業所」を開設。 昭和 55 年 03 月 札幌市東区東雁来町に「札幌東事業所」を開設。 昭和 57 年 07 月 石狩市新港に「石狩事業所」を開設。 シュレッダープラント完成。
	昭和 59 年 12 月 室蘭市東町に「室蘭事業所」を開設。 昭和 61 年 08 月 雨竜郡妹背牛町に「深川事業所」を開設。 平成 02 年 01 月 河西郡芽室町に「十勝事業所」を開設。 平成 02 年 11 月 資本金を1億円に増資。 平成 03 年 11 月 資本金を1億 2,500 万円に増資。 平成 08 年 09 月 資本金を1億 5,000 万円に増資。 平成 11 年 05 月 室蘭市東町にアルミ溶解炉を新設し、 「メタルエンジニアリング部」を開設。
	平成 11 年 06 月 資本金を1億 9,500 万円に増資。 平成 11 年 10 月 駒谷嘉一代表取締役に就任。 平成 13 年 04 月 家電リサイクル法の再商品化施設として、 「発寒リサイクル工場」を開設。
	平成 13 年 10 月 札幌市白石区に「プラネット事業部」を開設し、 大型ランニングゾーン設備を導入。
	平成 14 年 09 月 旭川市永山町に「旭川事業所」を開設。 平成 16 年 03 月 石狩市新港に「ELV道央」を開設。 平成 16 年 09 月 苫小牧市晴海町に「苫小牧事業所」を開設。 平成 16 年 11 月 資本金を2億 3,100 万円に増資。 平成 17 年 03 月 釧路市星が浦に「釧路事業所」を開設。 平成 19 年 02 月 札幌市東区北五珠に「札幌北事業所」を開設。 平成 19 年 05 月 本社を札幌市白石区から札幌市中央区に移転。 平成 20 年 07 月 北見市開成に「釧路事業所北網ヤード」を開設。 平成 21 年 04 月 苫小牧市勇払に「苫小牧アルミ工場」を開設。 平成 22 年 07 月 函館市港町に「函館港町埠頭ストックヤード」を開設。 平成 24 年 05 月 株式会社エス・ケカンパニーを合併。 平成 25 年 07 月 東京都江東区に「東京事業所」を開設。 平成 26 年 11 月 駒谷僚代表取締役に就任。 平成 27 年 03 月 特定労働者派遣業 特 01-302465 取得。 平成 28 年 03 月 資本金を2億 8,100 万円に増資。

■リサイクル事業部

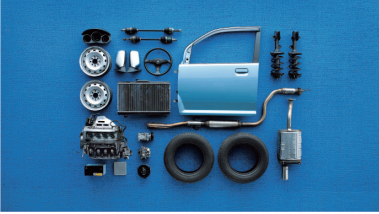


限られた資源を、限りなく。

産業廃棄物やビルの解体現場などから生じる金属スクラップを選別し、貴重な産業資材へ再生。
高層ビルや橋、鉄道など社会の重要なインフラを築く資材となる鉄。しかし、鉱物資源の少ない日本では原料となる鉄鉱石を海外からの輸入に頼っているのが現状です。
一方で、日常生活や事業活動からは大量の金属スクラップが排出されています。実際、資源として再利用できるものが多く含まれており、言わば「ゴミの山は、宝の山」。
鈴木商会は産業廃棄物や解体現場などで生じる金属スクラップ（鉄・非鉄）を回収し、自社工場で適切な加工・処理のものとリサイクル。
おもに長尺ものはギロチンシャーで圧縮切断し規格サイズに加工した後、道内の製鋼メーカーなどへ供給します。鉄以外の不純物が付着しているものは、シュレッダープラントにて破碎処理後、磁気選別で鉄スクラップを取出し再び建設資材に。鉄はリサイクル可能なすぐれたマテリアルでもあるのです。世界的に鉄の需要が急増する今日、私たちは道内製鋼・鋳物メーカーなどを中心とする企業ニーズに、質の高い加工技術と安定供給でお応えしています。
また、海外への輸出路も開拓し、国内での鉄スクラップ余剰対策に備えるとともに、国際的需要も視野に入れています。



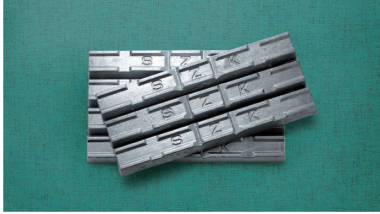
■ELV事業部



使い終わった自動車に、新しい命を。

道内一円から回収した廃車を解体し再利用の道へ。
愛着をもって乗りこなし、車が再び誰かのカーライフを支える、循環型社会の自動車リサイクル。
ELV = End of Life Vehicle（エンド・オブ・ライフ・ビークル）
役割を終えた自動車を引き取り次に生かすのが ELV 事業部です。
使用済み自動車は、入庫検査で中古部品として使用できるかどうかを細かくチェック。まず、エアコンのフロンガスやエアバッグを適正に回収・処理した後、手作業で部品ごとに解体、仕分けします。たとえば、再利用できるタイヤは国内外の中古市場へ、使えないものは製紙工場などの燃料としてサーマルリサイクル。オイルは再生油製造工場に引き渡し、エンジンは中古部品や金属スクラップとして国内外へ出荷。部品の回収が終わった車体は、自社シュレッダープラントで破碎され、金属スクラップとそれ以外の素材に選別されます。なかでも、アルミは自社のアルミ溶解プラントにて溶解され、アルミ部品の原料として自動車部品メーカーで再利用されます。
このように ELV 事業部には、引き取り・フロン回収・解体・破碎と大きく4つの作業がありますが、石狩事業所のように同じ敷地内にシュレッダープラントを備えた事業所は道内企業でも珍しく、解体現場からの輸送が省けるぶん、時間短縮や省エネルギーにお貢献しています。

■アルミ精錬事業部



先進のリサイクルで、ゼロ・エミッションへ。

月産能力 2,500t を誇る期待の苫小牧アルミ工場が稼働。
クオリティの高いアルミ再生加工の実現と、万全の環境対策を両立。
アルミニウムのリサイクル工場では道内最大規模となる苫小牧アルミ工場の完成で、アルミ事業が本格化。月産 2,000t のアルミ合金再生を目標に、最新鋭の設備がフル稼働しています。
自動車のエンジンやアルミホイール、アルミスクラップを原料に、素材の選別など前処理を経て炉で溶解した後、取引先が要求する成分規格に応じたアルミインゴットに加工し、おもに地元へ納入。
「道内で再生したアルミは道内企業へ」をモットーに、流通コストや輸送燃料を最小限に抑え、CO₂削減に配慮しています。また、アルミ溶解時に出る灰の処理ラインを完備し、灰（ドロス）をリサイクルの副産物として、製鋼用の脱酸材や保温材に加工して再利用。産業廃棄物を極力出さないという姿勢で、限りなくゼロ・エミッションを目指すのも、私たちの大切な使命です。
敷地面積 33,004.4m² という広大なスケールも、苫小牧アルミ工場ならではの、工場内の粉塵を取り除きクリーンな環境を保つ集塵機も完備され、野外排気もしっかり浄化。安全性と効率性を高めることで、高品質かつ高量のアルミ再生加工を実現するのにも、理想的な環境となっています。先進のリサイクルで、ゼロ・エミッションへ。

■リサイクル事業部

札幌西事業所
札幌市西区発寒 15 条 13 丁目 3 番 1 号
TEL 011-662-2211 FAX 011-664-6118
札幌東事業所
札幌市東区東雁来町 262 番地
TEL 011-875-3540 FAX 011-875-3546
札幌北事業所
札幌市東区北五珠 5 条 4 丁目 4 番 60 号
TEL 011-790-1281 FAX 011-790-1282
石狩事業所
石狩市新港中央 3 丁目 750 番地 7
TEL 0133-64-1877 FAX 0133-64-1878
石狩新港ヤード
石狩市新港東 4 丁目

旭川事業所
旭川市永山北 4 条 6 丁目 1 番 3 号
TEL 0166-47-0000 FAX 0166-47-9999
深川事業所
雨竜郡妹背牛町字妹背牛 226 番 19
TEL 0164-32-3223 FAX 0164-32-3333
利尻島ヤード
利尻郡利尻町杓形字新湊 179 番地

■ELV 事業部

ELV 道央支店
石狩市新港中央 3 丁目 750 番地 7
TEL 0133-64-1882 FAX 0133-64-1883

■アルミ精錬事業部

苫小牧アルミ工場
苫小牧市字勇払 145 番地 7
TEL 0144-51-5656 FAX 0144-51-5657

その、つづきを。



鈴木商会

http://www.suzuki-shokai.co.jp

■プラネット事業部



暮らしを彩る、変幻自在なプラスチック。

プラスチック素材販売・加工販売を取扱う事業部。商業施設や生活空間のさまざまなシーンで使われるプラスチック。すぐれた加工技術と販売網を駆使し、用途に適した製品を提供。多彩なリサイクル事業のほか、鈴木商会ではプラスチック素材の加工と販売でも実績をあげています。
現代建築や土木資材、生活雑貨などに幅広く用いられるプラスチックですが、その種類や性質は実に多種多様です。たとえば、ガラスのように透明度があり、軽くて割れないアクリル板、酸や薬品などに接しても変質しにくく、複雑な印刷や加工が施しやすい塩化ビニル版、衝撃や熱に強く、抜群の強度とነやかなさを誇るポリカーボネートなど、いろいろな機能をもつプラスチック素材がいたるところで活用され、その能力を發揮、プラスチックは用途に適した使い方をすることで、私たちの生活空間をさらに豊かに、快適なものにしてくれるのです。プラネット事業部は素材の特性を知り尽し、最新設備を駆使した熟練の加工技術と、適材適所へ製品を提供する販売戦略の両面から、プラスチック需要のネットワークを構築。協力会社と共に新たに導入したイタリヤ製レーザー加工マシンは、大型プラスチックの切断をはじめ、繊細なカットワーク、文字やデザインへの彫刻が可能で加工の幅もさらに拡大。私たちはこれまでに培った情報力と技術力を結集し、よりよい生活環境の創造に努めます。

室蘭事業所
室蘭市東町 3 丁目 1 番 10 号
TEL 0143-44-2073 FAX 0143-44-2798
苫小牧事業所
苫小牧市晴海町 17 番 2
TEL 0144-52-1281 FAX 0144-52-1282
函館港町埠頭ストックヤード
函館市港町 2 丁目 32 番

十勝事業所
河西郡芽室町東芽室北 1 線 8 番地 1
TEL 0155-62-6211 FAX 0155-62-6212
釧路事業所
釧路市星が浦南 3 丁目 2 番 9
TEL 0154-55-1281 FAX 0154-55-1282
北網ヤード
北見市開成 229 番地 4

東京事務所
東京都中央区銀座 4 丁目 11 番 7 号
第 2 上原ビル 6F
TEL 03-6659-8941 FAX 03-6659-8942

ELV 手稲支店
札幌市手稲区曙 5 条 5 丁目 3-50
TEL 011-688-1281 FAX 011-688-1283

■プラネット事業部
札幌ランチ
札幌市白石区平和通 15 丁目北 12 番 6 号
TEL 011-846-5577 FAX 011-846-7070